

精神保健論	2年・後期	1単位 15時間	講師 佐藤 亜紀
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	33310882

1. 授業のねらい・概要

個人、家庭、社会、医療における精神保健の意味・目的と、精神保健の維持増進を支援するシステムについて理解できるようになることを目的とする。精神（こころ）の構造と機能、ライフサイクルにおける精神（こころ）の発達と危機、社会（家庭、学校、職場等）における精神保健、回復（リカバリー）の方法を主な内容とする。

2. 学修の到達目標

1. 精神の健康とは何かについて、WHOの定義を用いて述べることができる。(D-1)
2. こころの構造と機能について、フロイトの理論を用いて重要な3構造を述べることができる。(D-2)
3. こころのはたらきと人格形成を理解し、主要な5項目の防衛機制を述べることができる。(D-1)
4. ストレスと危機状況について理解し、カプランの定義を用いて危機の状態を述べることができる。(D-1)
5. こころのしくみと人格の発達を理解し、エリクソンの漸成的発達論を用いて各期の特徴を述べることができる。(D-1)
6. 人生各期の発達危機を理解し、その特徴を述べることができる。(D-1)
7. 対象にとっての回復（リカバリー）とは何か説明することができる。(D-1)

3. 授業の進め方

テキストに基づくパワーポイント資料を用いた講義を中心に進める。また、視聴覚教材も取り入れ、学生が主体的に興味・関心を持ちながら取り組めるように進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして授業後のリアクションペーパーによるリフレクションを行う。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google Classroom, Gmail等による学習課題の提示・解説。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	精神の健康とは	講義	予習：テキスト第2章Aを読み専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：「精神の健康」についてまとめる。	佐藤亜紀
2	こころの構造と働き	講義	予習：テキスト第3章Aを読み専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：心の構造についてまとめる。	佐藤
3	欲求と防衛機制	講義	予習：テキスト第2章Bを読み専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：主要な防衛機制についてまとめる。	佐藤

4	こころのストレスと危機状況	講義	予習：テキスト第2章Cを読み専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：危機への対処（コーピング）についてまとめる。	佐藤
5	人生の成長と発達	講義	予習：テキスト第3章Bを読み専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：漸成的発達についてまとめる。	佐藤
6	人生各期の発達危機	講義	予習：テキスト第3章B②を読み専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：各期の発達危機をまとめる。	佐藤
7	回復の意味	講義	予習：テキスト第9章A・B・Cを読み専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：回復の意味をまとめる。	佐藤
8	リカバリーを促す環境と方法	講義	予習：テキスト第9章D・E・Fを読み専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：リカバリーを促す環境と方法についてまとめる。	佐藤

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席をした者）90%，課題レポート10%，を基準として総合的に評価する。

定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

課題レポートの内容と提出期限については授業中に口頭で指示する。

レポート提出が指定の期日に遅れた場合は1週間未満で50%減点，1週間以上で100%減点となる。

定期試験の出題範囲と出題方法は事前に口頭で提示する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：武井麻子(2021)系統看護学講座，精神看護学1，精神看護の基礎，医学書院
武井麻子(2021)系統看護学講座，精神看護学2，精神看護の展開，医学書院

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの範囲および事前事後学修（学修課題）をについて，最低90分の予習および復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

テキストを中心に学習を進めるので必ず該当のテキストを持参し，事前に該当の分野を読み，疑問点を明確にして授業に臨むこと。

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎むこと。

精神看護学実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

課題レポートの講評は授業内に行う。

定期試験の結果と解答については後日Gmailまたは掲示により解説する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。